

13. ごみ処理施設の設置及び管理運営に関すること

イ 統合ごみ処理施設(新ごみ処理施設)について

経 緯

平成9年7月に木曾地域広域行政推進会議が設置され、平成10年9月に策定された「木曾地域ごみ処理広域化計画」により、平成22年度の稼働を目標に新焼却施設の整備方針が出されたが、町村財政等の事情により、平成17年度に作成された「ごみ処理将来計画」において統合炉の稼働目標年度が見直された。

平成22年度には南北に2つあったごみ処理施設を北部クリーンセンター（現在の木曾クリーンセンター）へ統合するとともに、「一般廃棄物処理基本計画」により、新ごみ処理施設の稼働を平成30年4月と定めた。平成23年度には「ごみ焼却施設整備検討委員会」が設置され、具体的な建設計画が進められている。

現状と課題

県内においても広域連合を含めた自治体で新炉建設や更新計画を進めているが、多くは建設地の確保が難航し、建設が進まない状況となっている。

木曾地域では、郡内全体から建設候補地を抽出し、住民を中心とするごみ焼却施設整備検討委員会において十分な検討を加え、住民の同意を得て建設地を決定した。

更に、施設規模は、資源循環型の地域づくり推進によるごみの減量化を見据えて、現在の焼却炉の60%の規模である24t/日とし、処理方式については、安定的に処理が可能な施設として、機械化バッチ式炉を選定した。

これらは、循環型地域づくりにおけるごみ減量化の一環として「木曾地域循環型社会形成地域計画」において定めている。

今後は、環境負荷、費用等、住民の負担をできるだけ軽減した技術の導入について検討する必要がある。

今後の方針

建設予定地周辺的生活環境影響調査を行い、評価を行うと共に、温室ガス、エネルギー消費の軽減、サーマルリサイクルの有効利用等の技術を取り入れた環境負荷の小さな施設建設を目指すこととし、ごみ焼却施設整備検討委員会で検討する。

また、施設規模が決定し、これについてごみ減量化、資源化の推進目標が設定されていることから、この計画目標達成のための施策を進めていく。

施 策

- ① ごみの減量化の推進と資源ごみの活用
 - ・リサイクルの推進
 - ・郡内町村間の分別回収の統一
- ② 新ごみ処理施設建設の推進
 - ・環境負荷対策施設の検討
 - ・資源有効利用の検討

■ 一般廃棄物処理量予測

(単位：人、トン)

	実績		目標 ^{注1}				
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
総人口	31,042	30,601	30,190	29,696	29,213	28,738	28,271
計画収集人口	31,042	30,601	30,190	29,696	29,213	28,738	28,271
自家処理人口	0	0	0	0	0	0	0
総排出量	9,937	10,035	9,358	9,097	8,855	8,631	8,415
市町村収集量等	9,937	10,035	9,358	9,097	8,855	8,631	8,415
自家処理量	0	0	0	0	0	0	0
1人1日当り排出量 (g)	877	898	849	839	830	823	815
市町村処理量	9,274	9,459	8,734	8,490	8,265	8,055	7,853
焼却処理量	6,202	6,388	5,841	5,650	5,475	5,311	5,179
資源化	2,658	2,768	2,650	2,612	2,575	2,540	2,477
不燃残渣 (A)	414	303	243	228	215	204	197
埋立 焼却残さ (B)	914	924	725	687	669	653	638
最終処分量 (A+B)	1,328	1,227	968	915	884	857	835
リサイクル量	3,321	3,344	3,274	3,219	3,165	3,116	3,039
市町村資源化量	2,658	2,768	2,650	2,612	2,575	2,540	2,477
集団回収量	663	576	624	607	590	576	562
リサイクル率	33.4%	33.3%	35.0%	35.4%	35.7%	36.1%	36.1%

注1：目標は木曾地域 循環型社会形成推進地域計画 (H24.1) による

データの説明

総人口	
計画収集人口	収集地域の人口 (10/1現在)
自家処理人口	未収集地域の人口 (木曾郡では、0)
総排出量	
市町村収集量等	可燃ごみ+不燃ごみ+リサイクル量(集団回収含む)
自家処理量	自家での堆肥化等：集計不能
1人1日当り排出量 (g)	総排出量/総人口/365日
市町村処理量	
焼却処理量	可燃ごみ排出量+不燃からの焼却ごみ量
資源化量	不燃資源化量+リサイクル行政収集量
不燃残渣 (埋立 A)	不燃残渣 (ガラス、陶器類など) の処分量
埋立 焼却残さ (B)	焼却灰量
最終処分量 (A+B)	総埋立量 (ABCの計)
リサイクル量	
市町村資源化量	資源化量+リサイクル収集量
集団回収量	P T A回収、集団回収等
リサイクル率	リサイクル量 / (市町村処理量+集団回収量)